しおさいかわら版

発行所
小名浜まちづくり市民会議
TEL：52-1275
FAX：52-1415
発行日
平成30年4月20日

3月全体会議

平成30年3月23日、まちづくりステーション小名浜において、3月全体会議が行われました。

いわき市総合政策部創生推進課の津田一浩参事（兼）課長を講師に迎え、「スポーツを軸とした地域イノベーションに向けて　～スポーツを地域の新たな経済エンジンに～」を題材に3部構成で講演を頂きました。

いわき創生総合戦略では、いわきのこれからの人口は減少が避けられない。今やろうとしていることは、いわきの強みをもう一度考え、人材の育成面では、いわきアカデミア推進協議会を設立し、いわきの企業や企業人を知って頂き、いわきネウボラの構築で出産・子育てを支援する。しごとづくりでは、再生エネルギー関連産業の振興や、本社機能移転を進めるために奨励金の支援と税の優遇制度の創設などを進めていく。また、地域未来投資促進法を活用し、地域の特性を生かした成長性の高い新たな分野に挑戦、地域交流拠点の創設・新たな地域スポーツ振興の体制づくりをしていくと話しました。更に、地域のイノベーションとして、スポーツ産業を新たな経済エンジンと位置づけ、いわきFCとの連携による各種のスポーツ大会の開催、合宿の誘致やヘルスケア等のスポーツツーリズムの仕組みを創り、スタジアムを中心としたまちづくりで、いわき市の交流人口の増加と地域経済の循環を促し、持続可能なまちづくりを進めるとしました。

▲講師（津田一浩氏）の話に真剣に聞き入る市民会議メンバー

世界水族館会議

今回アクアマリンふくしまで行われる世界水族館会議（International Aquarium Congress）は今回で10回目になります。第7回は（2008年）上海、第8回（2012年）はケープタウン、第9回（2016年）はバンクーバーと世界でも有数の観光地で行われてきました。

会議の参加者は、4日間の期間中ずっと会議に参加するわけではなく、合間に周囲の観光なども行い、夕食は街中に出るなどして訪れた開催地を楽しみます。

今回、メイン会場がアクアマリンパークとなっており、歓迎のイベントも開催しますが、それだけで十分とは言えません。街ぐるみでのおもてなしができるかどうかは皆さんのご協力にかかっています。今後、街中の紹介ができるような仕掛けも考えていきたいと思いますので、ご協力をよろしくお願いします。

▲第9回バンクーバーの会場（2016）

トライアスロン in いわき デュアスロン・ミックスリレーフェスティバル

今から12年前（H18・7・16）、オリンピック選手を含む日本のトップトライアスリートがアクアマリンパークに集結し、スピード感あふれるスーパースプリントトライアスロンが開催されました。

今回、イオンモールいわき小名浜オープン前の5月27日（日）に、同じアクアマリンパークにおいて、デュアスロン・ミックスリレーフェスティバルを開催します。この時期の海水温の関係で、1・2号埠頭内でのスイムは行えませんが、ラン・バイク（自転車＝ママチャリ・子供自転車OK）の2種目で、小学生、中学生の部門、さらには、東京オリンピックの正式種目に決定した男女混合リレー（ミックスリレー）等を行います。この大会を通して、いわき市の皆さんにもトライアスロン競技の面白さ、楽しさを満喫して戴き、いわき市の観光PRやスポーツの振興、市民の健康増進に向けた意識の高揚に寄与できればと思います。大会への参加は初心者でも大歓迎、皆さんのご参加とご協力をよろしくお願い致します。

小名浜まちづくり市民会議会員の皆様へ

全体会議開催のお知らせ

4月26日午後6時30分より、まちづくりステーション小名浜3階において、4月全体会議を開催します。また5月24日は、小名浜まちづくり市民会議総会を開催します。

日時、会議内容など変更する場合がございますので詳しくは小名浜まちづくり市民会議（52-1275）までお問い合わせください。

変わりゆく小名浜 ⑭
～まちもりシオカゼ～

㈱まちもりシオカゼの最初のプロジェクトである空き店舗を活用したリノベーション物件、「シオカゼ」のオープニングイベントを平成30年5月19日（土）と翌20日（日）に開催します。場所は汐風竹町通りのポケットパークと「シオカゼ」です。イベントタイトルは“HONOHONO ONAHAMA”。HONOHONOとはハワイ語で「ゆっくり散歩する」という意味です。コンセプトは「粋な小名浜漁港文化とカウアイを感じる散歩道」です。実は小名浜港とハワイ州カウアイ島とは不思議なご縁があるのです。東日本大震災で小名浜港から津波と共に流れ出したブイが、7000マイルの海上を旅して、カウアイ島に着いたのです。そのブイは地元住民のご厚意により、震災復興と明るい未来を祈念するモニュメントとして、今でもカウアイ島のポートアレン港に展示されています。まちもりシオカゼの想いとイベントの詳細はフェイスブックページにて紹介していきますので是非ご覧下さい。

富ケ浦公園清掃

3月31日、小名浜の富ケ浦公園において延べ約20名の小名浜まちづくり市民会議会員の参加のもと、除草作業が行われました。この公園は旧代官所に近く、小名浜を一望できる桜の名所的な公園です。きれいになった公園では春の日差しとほころび始めた桜の中で、多くの親子連れが花を愛でながら楽しいひと時を過ごしていました。

ホットする場所
桜の開花

東京では3月24日に桜が満開を迎え、小名浜の桜も昨年より9日早い3月28日に開花宣言が出されました。

小名浜のまちと泉の境目に架かる吉川橋の河川敷には、30本ほどの桜並木が続きます。藤原川が流れ、隣には福島臨海鉄道が走り、桜の季節には遠方からカメラマンが訪れる桜の隠れスポットです。3月のお彼岸を過ぎると、散歩する人たちが立ち止まって桜の木を見上げ、蕾の膨らみ具合を毎日気にする姿が見受けられます。この桜並木は20年程前に植えられ、震災後から毎年ライトアップされています。桜を管理する住民Aさんは「震災後の暗い気持ちを少しでも明るくしたい。地域の皆さんに少しでも楽しんでもらいたい」との一心で、毎年枝の剪定をし、周辺のゴミを拾い、照明の設置をしているそうです。

▲藤原川河川敷に咲く桜並木

◀いわき民報夕刊記事より

年々お花見客も増え、夜はデートスポットにもなっています。間近で桜を愛でる人、少し離れて吉川橋の上から眺める人。対岸の泉側の土手から、藤原川の水面に映る逆さ桜を楽しむ人。皆さん、思い思いに桜を楽しんでいるようです。

この桜並木は5月の連休明けには新緑の美しい姿に変わります。その頃にも再びライトアップされる予定ですので、お近くにお越しの際は、皆様ぜひお楽しみ下さいませ。

（開花宣言：旧小名浜測候所の標準木の桜で5輪以上の開花が確認できる事）

市民朝市 おなはまマルシェ

4月1日、小名浜さんかく倉庫にて恒例の「おなはまマルシェ」が行われました。これは小名浜まちづくり市民会議が、まち中に、とりわけアクアマリンパークに賑わいを創ろうと企画し開催している朝市です。春の日差しが見え隠れする中、いわき市内の物産販売者が自慢の商品を持ち寄り、多くのお客様と対面の会話を楽しみながら販売していました。

次回は5月6日の日曜日、朝7時から開催予定です。是非、初夏の朝の散歩を楽しみながらお出かけください。

小名浜まちづくり市民会議とは…

小名浜に住む人、小名浜を心から愛する人、小名浜を輝かせたいと思っている人々が集まり、関係機関・団体と協働で小名浜のまちづくりを進めている団体です。

随時FBに活動状況をアップしています。見つけたらぜひ、いいね！してください。

会員募集

小名浜まちづくり市民会議では随時、会員募集しています。学生さんも、働くお父さんも、子育てに励むお母さんも、年齢は問いません。皆さんも一緒に素敵な未来の小名浜を創りませんか？

年会費　個人会員：3000円　企業会員：20,000円　団体会員：12,000円

お問い合わせ・お申し込みは：いわき市小名浜字本町11-1（まちづくりステーション小名浜）
TEL：52－1275　FAX：52－1415
http://www.onahama.jp/　E-mail：info@onahama.jp

©小名浜まちづくり市民会議／福島ガイナックス

この広報紙は、小名浜地区行政嘱託員（区長）連合会の御協力により配布しております。